

政策調整会議の概要

開催日 平成 28 年 9 月 1 日 (木)

◎項 目

- 1 職員の創造性の発揮と業務の質の向上に向けた取り組みについて【総務部】
- 2 各部局等の主要な取り組みについて【各部局等】
- 3 その他

◎内 容

- 1 職員の創造性の発揮と業務の質の向上に向けた取り組みについて【総務部】

総務部より、職員の創造性の発揮と業務の質の向上に向けた取り組みについて説明が行われた。

(行政管理課)

職員がより創造性豊かな仕事、質の高い仕事に取り組んでいくために、職員の能力が最大限発揮されるよう大胆な事務事業の見直し、定数の最適化の推進、仕事の仕方の見直しなどにより、職員の力をこれまで以上に引き出す環境を整えること、また、そのことにより、職員の健康増進や時間外の縮減にもつなげていきたい。

そのため、既存事業のスクラップアンドビルドの取り組みや積極的な外部委託の推進などにより事務事業の見直しをお願いする。

また、組織機構及び定数配置については、県の重要施策に対応した戦略的な定数配置を実現する観点から、各部局の枠を超えて、大胆に定数の再配置を推進していく。

(副知事)

職員の健康増進、時間外勤務の縮減、ワークライフバランスの確立のため、この取り組みにおける管理職員の果たす役割は非常に大きい。ぜひ思い切った発想で取り組んでいただきたい。

また、内部資料については、費用、時間ともにかかるカラーコピーではなく、モノクロコピーで作成していただきたい。

(水産振興部)

行事等により一時的に人員が必要な場合であっても、暫定的にも職員を前倒し採用して、その後採用を減らすような柔軟な対応は基本的にはないのか。

(副知事)

職員定数について適正化かどうかの見直しをするが、基本的な方向として、現在の全体定数は維持していくこととしており、現時点で暫定的に定数を増やす考え方はない。一時的な行事等については、出先と本庁の揺り動かしなど弾力的な運用により、しっかりとした体制をつくっていくことになると思う。

(総務部)

今回の通知は、単に時間外縮減の観点ではない。かなりの激務になっている所属があるので、優先順位の低い事業と新たに力を入れるべき事業についてしっかりと調整をして、職員の持つ能力を最大限発揮してもらおうというもの。

各部局において、会議や知事等協議に対応する職員の限定や資料の簡素化など業務改善の徹底をお願いする。

2 各部局等の主要な取組について【各部局等】

総務部が取りまとめた各部局等の主要な取組に関する資料を配付の上、各部局による概要説明が行われた。

【主な説明概要】

○ 高知家健康パスポートについて

(健康政策部)

高知家健康パスポート事業がいよいよ今日からスタートする。健診や人間ドックを受けた時点で2ポイント、ゴルフや献血などでプラス1ポイント、3ポイント貯まればパスポートがもらえる。パスポートによりいろんな特典があるという、龍馬パスポートと近いシステムになっている。ぜひ取得に向けて取り組んでいただきたい。

○ 医師を対象とした災害医療研修について

(健康政策部)

9月26日から医師を対象とした災害医療研修を実施する。南海トラフ地震が発生したときに、傷病者を被災地外の医療機関へ搬送する後方搬送が求められるが、実際は、高知県にすぐには支援の手は来ないだろうということで、支援が来るまでの間、地域で医療救護活動を展開していかなければならない。

そのため、日ごろ救急医療に携わってない医師にも応急措置等に活躍していただけるよう、地域の医師を対象にした研修をスタートすることとしている。

○ こうち起業サロンキックオフセミナーについて

(産業振興推進部)

9月25日にこうち起業サロンキックオフセミナーを開催する。こうち起業サロンは、起業を考えている方や起業等をサポートする支援機関の方などが集う場であり、スムーズな起業やその後の事業拡大に向けた活動を促進するための仕組みである。

サロンでは、セミナーや交流会、個別の相談会も開催したいと考えているので、関係部局のご協力をお願いします。